

The Progressive Magazine
APRIL 26, 2023

"Pentagon Leaks" Punch a Hole in the U.S. Propaganda War

「ペンタゴン漏洩事件」、プロパガンダ戦争に強力パンチ

<https://progressive.org/latest/pentagon-leaks-us-propaganda-war-benjamin-davies-260423/>

BY MEDEA BENJAMIN, NICOLAS J S DAVIES

はじめに

重大事件が発生した。ウクライナ戦争に関するペンタゴンの秘密文書が流出したのだ。

このことに対する米商業メディアの最初の反応は、水面に向かって泥つぶてを投げ込むようなものであった。彼らは「何も見るべきものはない」と断言し、21歳の空軍州兵が友人の気を引くために秘密文書を公開したと語り、非政治的な犯罪記事として葬り去ろうとした。

ジョー・バイデン大統領は、このリークを「重大な結果をもたらすものではない」と断じた。



Medea Benjamin at 2007

State of the Union protest

文書の意義： 国防総省がウクライナの戦況不利を認めたこと

あらためて事実注目しよう、これらの文書が明らかにしたのは、戦争がウクライナにとって、政治指導者たちが認めている以上に悪い方向に進んでいるということだ。

...どちらの側も今年中に膠着状態を打破することはできず、文書の1つにあるように、「2023年以降も戦争が長引く」可能性が高い...
と、文書の一つは明かしている。

このようなペンタゴンによる「見通し」が露見したのだから、政府は当然、国民に改めて事情説明する必要がある。

流血を長引かせることで、本当のところ、一体何を実現しようとしているのか？

そして、2022年4月に米国が阻止した和平交渉の再開をなぜ未だに拒み続けているのか？

私たちは、この和平交渉を妨害したことは、大変な間違いだったと考えている。また英国首相ボリス・ジョンソンの好戦的姿勢に屈服したことも同様である。

現在の米国の政策は、さらに何万人ものウクライナ人の命と、広大な国土を犠牲にして、この過ちをさらに悪化させている。

戦争当事者は一般に、自分たちに責任がある民間人の犠牲者の報告を過小に見積もり、専門職としての軍は自軍の死傷者数を正確に報告することを基本的な責務としている。

しかし、ウクライナ戦争をめぐる激しいプロパガンダ合戦が行われている。両国が戦闘犠牲者の数を一種のゲームとして扱っている、その結果、敵の死傷者は組織的に誇張され、自国の死傷者は過小評価される。

公開されている米国の推定では、ウクライナ人よりも多くのロシア人が殺されているという考えが支持されている。

それは国民の間に、「ウクライナは、私たちが武器を送り続ければ、きっと戦争に勝つことができる」という考えを押し付けている。すなわち意図的に世論を歪めている。

リークされた文書は、米軍の内部情報による両軍の死傷者数の評価である。しかしさまざまな文書や、ネット上に出回っている情報では、矛盾した数字が示されていることもある。そのことから、米軍筋の角度の高い情報が明らかになったにもかかわらず、プロパガンダ戦争は相変わらず続いている。

この点について漏洩文書の記載を紹介する。

米軍情報部は、「部隊の消耗率に関するウクライナ側情報には信頼が置けない」と述べている。

そしてその理由として、「ウクライナ軍側の情報共有には偏りがある。情報源によって死傷者数が変わる」と指摘している。

ようするに、ウクライナ側の方が死者数が多いというペンタゴン文書の記述は、連邦政府当局の否定にもかかわらず、正しいであろう。

現在の戦闘の主流は、砲弾が飛び交う血みどろの消耗戦である。

そして、ロシアがウクライナの数倍の砲弾を発射していることは、広く報道され知られている。

いくつかの資料では、双方の死者数は10万人に迫り、死傷者を合わせると35万人に上ると推定されている。

また、別の漏洩文書は明らかにしている。

ウクライナはNATO諸国から送られた在庫を使い切った。すでに防空の89%を占めるS-300とBUKシステム用のミサイルが不足しつつある。

そして長距離ミサイル攻撃とドローン攻撃を主な戦術とするロシア軍のに対して耐えきれなくなっている。5月か6月にロシア軍が全力攻撃を開始すると、危機状態に陥るかも知れない。

幻の春季大攻勢

最近の欧米の武器輸送は、次のような予測によって国民に正当化されている。

すなわち「ウクライナはロシアから領土を奪還するために新たな反攻作戦を開始する。それがまもなく可能となる」

この「**春季攻勢**」のために、新たに納入された西側の戦車が動員される予定だ。戦車戦の訓練のために、12個旅団、つまり最大6万人の軍隊が編成された。

ウクライナに3個旅団、ポーランド、ルーマニア、スロベニアにさらに9個旅団が作られる予定だ。

しかし、2月末の漏洩文書によると、海外で装備・訓練を受けている9旅団の装備は平均して半分以下だった。訓練も平均して15%程度にとどまっていたことが明らかになった。

一方、ウクライナはバクムートに援軍を送るか、町から完全に撤退するかという厳しい選択を迫られた。そして迫り来るバクムート陥落を防ぐために「春の攻勢」部隊の一部を戦列から外す道を選択した。

米国とNATOは2015年にドンバスで戦うウクライナ軍の訓練を開始した。ロシアの侵攻が始まってからは他国で訓練を行っている。NATOはウクライナ軍をNATO軍の基本水準まで引き上げるため、6ヶ月間の訓練コースを提供している。

これを踏まえると、「春の攻勢」のために集められている部隊の多くは、実際には夏（7月か8月）までに訓練を終え前線に配備される可能性は低い。

リークされた文書は、春季攻勢計画の結論として「訓練や弾薬の供給におけるウクライナ側の持続的な不足に悩まされるだろう。それが攻撃の進展を妨げ、犠牲者を増やすだろう。最も可能性の高い結果は、わずかな領土の獲得にとどまる」と予想している。

この文書は、ロシア側の深刻な欠陥も明らかにしている。

バクムートでの激戦は数カ月にわたって続いた。双方で何千人もの兵士が倒れ、街は焼け野原になったが、ロシアは未だに100%支配できていない。

私たちは、バイデン大統領の計画がどのようなものなのか、あるいはそもそも彼がなにか計画を持っているのかさえ、疑わざるを得ない。

このような懐疑心は私たちだけではないことが判明した。

商業メディアは無視を決め込んでいるが、今回の漏洩は実は2度目の話だ。

今やCIAや軍部まで政府の意図を疑っている

米国の情報筋は、ベテランの調査記者シーモア・ハーシュに次のように語っている。

「私たちも同じ質問をした。結果わかったことは、ホワイトハウスと米国情報機関の間が“完全な断絶”を来たしているということだ」

ハーシュの情報源は、「これは2003年に米国がイラクへの侵略を正当化するために取った手段と同じパターンだ」と指摘する。捏造された、あるいは検証されていない情報を組み合わせて偽情報をでっち上げる手法。

情報源によれば、**ブリンケン** 国務長官と**サリバン** 国家安全保障顧問は、通常の情報分析および手続きを迂回し、ウクライナ戦争を自分たちだけの情報のもとで運営していた。

彼らはゼレンスキー大統領に対するすべての批判を「親プーチン」として中傷した。そして米国の情報機関が政策を理解しようとしても、それを無視した。

米国の情報当局が明確に認識しなら、ホワイトハウスが執拗に無視している事実がある。それは次のことだ。

アフガニスタンやイラクと同じように、ウクライナも腐敗が常態化している。この国のトップは米国がこれまでに送った 1000 億ドルの援助と武器から金をかすめ取り、大儲けしている。

ハーシュの報告によると、CIA はゼレンスキー大統領を含むウクライナ政府関係者が 4 億ドルの資金を横領したと評価している。その資金はアメリカがウクライナにディーゼル燃料を買わせ、戦費に充てるために供与したものである。それを彼らはロシアから安価で割安な燃料を購入するという手口でせしめた。

ハーシュの独自調査によれば、ウクライナ政府の各省庁は文字通り互いに武器の販売競争をしている。

米国の納税者が国家財政として支負担した国家財政で購入した武器が大量にウクライナに送られる。ウクライナの官僚たちは、それをポーランドやチェコなど世界各地の民間武器商人に転売し、大儲けしている。

ハーシュは、今年 1 月、こう書いた。

CIA はウクライナの将軍たちから聞いた。ゼレンスキーが将軍たちよりも多くの利益を得ている。そのことで彼らは腹を立てていると。

そこで CIA 長官のウィリアム・バーンズがキエフに赴き、彼と面会した。そして「君はスキムマネーを取りすぎている」と言った。そして、CIA がこの腐敗した計画に関与していると知っている 35 人の将軍と高官のリストを手渡した。

Seymour Hersh: Zelensky embezzled \$400 million from US taxpayer money
<https://english.almayadeen.net/news/politics/seymour-hersh:-zelensky-embezzled-400-million-from-us-taxpay>
別途翻訳掲載します。

ベトナム、イラク、アフガニスタン...そしてウクライナ

米国が何十年も関わってきたすべての戦争で起こったように、戦争が長引けば長引くほど、腐敗、嘘、歪曲の亡者たちはは解き放たれる。

米政府は和平交渉を妨害し、ノルド・ストリーム・パイプラインを破壊し、ウクライナ政権幹部の汚職を隠蔽し、死傷者数を偽り、約束を破り、NATO拡大の危険性を隠し、予見的警告を隠蔽してきた。これらはすべて、私たちの指導者がいかに真実を歪めてきたかの例である。

いまやウクライナの若者たちを犬死にさせている勝ち目のない戦争を継続させることが、政府の目的と化している。そのために国民の世論の結集をはかろうとして、ありとあらゆる手段を講じている。

これらのリークや調査報道は、最初でも最後でもない。プロパガンダのベールを破って真実の光を解き放つた作業はこれからも続く。

ロシア、ウクライナ、米国のオリガルヒ（独占資本家）が富と権力を得るために、遠く離れた場所で若者の人生を破壊することを許さないために。

フランシスコ法王は、戦争の利益をむさぼる企業や個人を死の商人と呼んだ。彼らと彼らの言いなりになる政治家を追放するために、より多くの人々が活動することが、これを止める唯一の方法だ。

（訳 SS）